

～目次～

1. TKK活動
2. 関連団体の活動
3. 行政等の活動

【1】TKK活動

**

●理事会、定期総会

6月19日（日）午後、港区赤坂区民センター

今年度の活動予定はHPに掲載しておりますので、次のページでご覧下さい。

<http://www.brain-tkk.com/npoact/index.php>

●家族相談交流会、

6月4日,9月3日の両日は東京都心身障害者福祉センター、7月13日は多摩障害者スポーツセンターで実施しました。

=====
6月,7月,9月の3回で8家族12名の参加がありました。そしてTKK側は延べ11名の相談員と2名のオブザーバーで対応いたしました。

今回の特徴として感じたのは年齢が高く、要介護施設に通所している方の中には回復への訓練に物足りなさを感じる方が多いということです。

全体的には発症からまだ日が浅い方が多いですが、やはり社会資源を捜しきれない(少ない)、将来への不安(お子さんが低学年、ご主人の社会復帰への可能性)を抱えている方が多いことです。しかし相談員からの情報が大いに参考になっていることは感じられます。

9月3日に来られた方の中の2名が9月17日の港区の「講演と家族相談交流会」に参加され質問もされていました。相談会の参加者に講演会等の案内をすることは大いに役に立つことだと改めて感じました。=====(高橋記)

●「高次脳機能障害のグループ訓練」講座 第4回、第5回開催

・第4回（5月28日）

「心理的ケアをめざしたグループカウンセリング」(沖縄国際大学 上田幸彦氏)

「いきがいについてのグループカウンセリング」(オフィスろごす 吉田香里氏)

・第5回（9月10日）

「前頭葉障害への思考シミュレーション訓練」

(広島医療秘書こども専門学校 馬屋原 誠司氏)
「前頭葉障害者の家族教室」(帝京平成大学 中島 恵子氏)

=====**9月10日**の第5回で「グループ訓練」講座シリーズは終了しました。
中島先生編著「高次脳機能障害のグループ訓練」に掲載された**10編**の実践報告を知った時、こんな素晴らしい、先進的な訓練、リハビリテーションが行われていることに驚きを感じました。そしてこれらの実践をより多くの専門家に知って頂き、出来れば多くの多様な施設（全国の支援拠点や一般の通所施設等）で取り組んでほしい、という思いで講座を企画、開催しました。

TKKという団体が主催する専門家向け講座にどれだけの方に参加頂けるか不安もありましたが、昨年**9月**の第**1回**から定員をオーバーしてお断りせざるをえない状況が発生しました。

日本全国からおいで頂いた心理士、セラピスト等、支援者、福祉関係の専門家が、一日熱心に講義に耳を傾け、またグループワークに取り組む姿を拝見し、大変力強く感じました。来年以降も何らかの形で専門家向けの講座を**TKK**として開催していきたいと考えています。=====**矢野**

【2】関連団体等の活動

-
- サークルエコー「合宿」・「大いに語ろう会」、**10月15日（土）～16日（日）**
横浜市障害者研修保養センター 横浜あゆみ荘

大いに語ろう会

1部「コラージュ（貼り絵）をやってみよう」

2部「本人は、家族は、どう生きていくのか、誰とどのように暮らすのか」

問合せ先: 高橋 俊夫 **0422-51-4137**

- 交通事故被害者家族ネットワー主催 学習会&相談会,**10月23日（日）**午後
東京シティ・エアターミナルビル 1階ホール（日本橋箱崎）

協力弁護士による後見人問題講演、交通事故専門弁護士による無料法律相談会他
参加は会員のみ、完全予約制 <http://www.jiko-kazoku.com/>

- 高次脳機能障害者と家族の会 主催、江戸東京博物館と「ちゃんこ」昼食！
11月5日（土）午後
問い合わせ：**03-3200-8970**(太田)

- なんてんの会主催セミナー「働き盛りで倒れたら」**11月8日（火）**午後
青梅市福祉センター 参加は無料、但し事前申し込みが必要
講師 柴本玲さん

詳細は ↓

http://www.brain-tkk.com/index/show_board.php?boardAct=view&readNum=134

- 調布ドリーム「第**15回**ドリームサロン」**11月26日（土）**午後
高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム（京王線飛田給駅徒歩1分）

- ・講演 「携帯電話と便利な福祉機器のご紹介」
中山 剛氏 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
- ・調布ドリームの活動紹介と全体でフリートーキング

【3】行政等の活動

＊ ＊

●高次脳機能障害者相談支援研修会、7月13日、社会福祉保険医療センター

- ・高次脳機能障害の基礎知識 首都大学東京 渡邊教授
- ・相談支援の基本と家族支援 都身障センター 大塚氏
- ・家族の体験談...TKK加盟団体の家族

==== 300名以上の支援者が熱心に耳を傾けておりました。当日に東京都発行の最新版「高次脳機能障害者地域支援ハンドブック」も配られました。その中には高次脳機能障害の相談支援・基礎知識・社会復帰に向けて等が詳しく書かれてあり、この障害の支援のノウハウを多くの方々が学んで頂いている事が判り、今後の地域支援の発展が感じられ、安心できる研修でした。

===== 渡辺 (高次脳機能障害者と家族の会)

○東京都高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会,10月5日(水)夜,都身障

- ・平成23年度 高次脳機能障害支援普及事業予定及び実施状況
- ・高次脳機能障害者就労準備支援プログラム利用者実態追跡調査報告
- ・小児期受傷・発症の高次脳機能障害児者の支援実態調査の実施状況報告
- ・今後の予定`

○葛飾区 高次脳機能障害講演会(各日の13:30から、ウエルピアかつしか3階)

- ・10月15日 (土)
区東北部地域支援センター (拠点病院) 柳原リハビリテーション病院
ソーシャルワーカー 井上 弘子 氏
ー 利用者の実態・社会福祉制度
- ・11月19日 (土)
在宅リハビリテーションセンター 言語聴覚士 矢作 満 氏
ー 専門家によるリハビリテーション、家庭でできるリハビリテーション
- ・12月17日 (土)
(財)日本精神衛生会理事 本木下 道子 氏
ー 障害者の人権とリハビリテーション、歴史 考えかた 取り組み

○青梅市 高次脳機能障害者のためのグループ訓練をスタート

10月より土曜日月2回、6か月12回を1クール

目的(目) 当事者の自発性、自己マネジメント、協調性、他者理解などの能力の再構築と向上

(月) 次の段階への見極め

(火) 家族のレスパイト

青梅市、西多摩高次脳機能障害支援センター、なんてんの会の協働参画事業

今年度はトライアルの位置付け、来年度以降の継続が今後の課題

◎港区 高次脳機能障害理解促進事業

ー今年度3回の講演会・相談交流会の開催をTKKが港区から受託
9月、11月、来年2月の3回開催

●第1回目～当事者の思いに寄り添うために～

9月17日(土)午後、高輪区民センター 1階 集会室

<講演1> 高次脳機能障害の理解と対応

渡邊修氏 首都大学東京 大学院教授 (医師)

<講演2> 当事者中心のサービス提供のために:円滑な情報共有と当事者の思いに寄り添うということ

廣實真弓氏 帝京平成大学准教授,国立精神・神経医療研究センター病院
リハビリ部 (言語聴覚士)

<家族相談交流会>...専門家による相談支援....

渡邊 修氏,廣實真弓氏

大塚祐子氏:東京都心身障害者福祉センター高次脳機能障害者支援担当

池田敦子氏:TKK理事/NPO法人VIVID(ヴィヴィ)代表,社会福祉士

=== 参加者約40名、講師.港区・TKKスタッフを合わせて60名で満席でした。
両先生の明快な講演会のあとに家族相談交流会が開催されました。
専門家による相談支援だったので、当事者やご家族の質問や相談に、医学・医療・行政・福祉的に的確な判断や応答がなされました。相談会の場合は、外部参加者数はこれが限度のように思いました。参加した方々や主催者側の港区も満足し、大好評を得ました。 ===== 細見

○第2回目～地域で進めよう、あきらめない支援～、11月8日(火)午後

高輪区民センター 1階 (港区高輪1-16-25 高輪コミュニティーぷらざ内)

定員:70名(港区&近隣の当事者、家族、関係者)、無料

申込先:10/31までは、みなと 03-5472-3710、10/31後は、港区障害者福祉課
3578-2111(内2457)、またはTKK事務局3408-3798

・高次脳機能障害とリハビリテーション,武田克彦氏:国際医療福祉大学 教授
三田病院神経内科部長・リハビリテーション科副部長 (医師)

・地域に於ける高次脳機能障害者支援,和田敏子氏:世田谷ボランティア協会
事業部長・理事、ふらっと施設長(高次脳機能障害相談員)

<家族相談交流会>

両講師および中村哲治氏(都心障センター高次脳機能障害者支援担当)

池田敦子氏 TKK理事/NPO法人VIVID代表

以上